

「第 3 次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画」
の概要と進捗状況
および石川県における歯科口腔保健医療施策の
推進について

第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の概要

1 計画策定の趣旨

ライフステージに応じて歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することで、ひいては、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与することを目指す

2 戦略の位置づけ

歯科口腔保健の推進に関する法律第13条及び石川県歯と口腔の健康づくり推進条例第11条に基づく、県の歯科保健計画

3 計画の期間

令和6年度から令和11年度までの6年間

5 計画の基本方針

①歯と口腔の健康に関する地域差の改善

地域や集団における歯科疾患の実態等について把握に努め、②から④に掲げる基本方針を達成すること等により、歯と口の健康に関する地域差の改善を目指す

③特に配慮が必要な分野における歯科口腔保健の推進

障害者（児）、要介護者などに対して、その状況に応じた支援を行うとともに、妊産婦や基礎疾患を有する人など、特に配慮が必要な分野における歯科口腔保健を推進

4 計画の目標

歯と口腔の健康づくりに関する施策を推進し、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与する

②ライフステージに応じた歯科疾患の予防及び口腔機能の維持・向上

むし歯や歯周病等の歯科疾患の成り立ちについて、広く県民に普及啓発を行うとともに、生涯にわたって自分の口から食べることができるよう口腔機能の維持・向上を推進

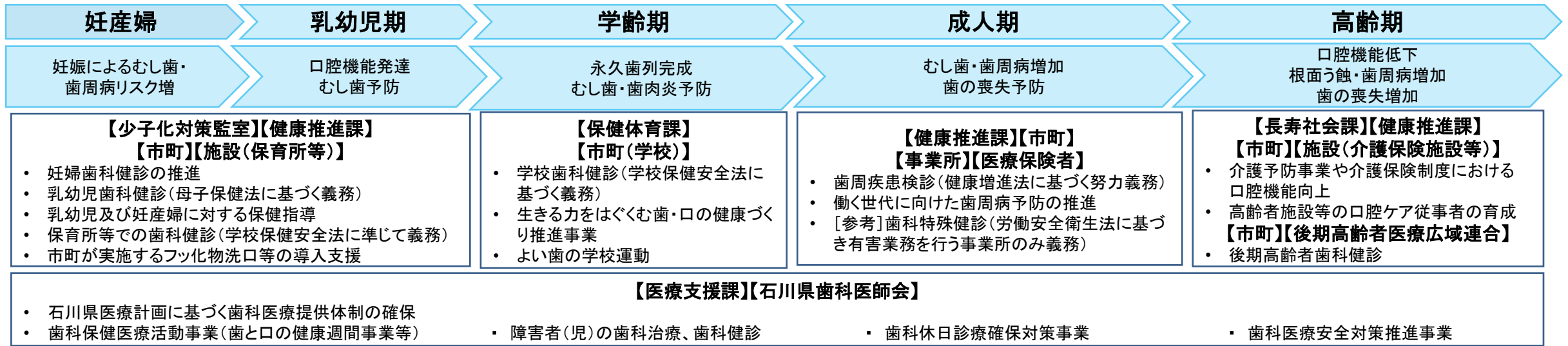
④歯と口腔の健康づくりを推進するために必要な社会環境の整備

歯科疾患の早期発見や災害に備えた歯科保健医療提供体制を整備するとともに、歯科口腔保健に携わる人材に対して、適切な情報を提供し研修を実施する等、資質向上に努める

石川県における歯科口腔保健医療施策の推進

目標：歯と口腔の健康づくりを推進し、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与する

◆「いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画」に基づき、県の関係部局や市町、歯科医師会等の関係機関との連携のもと、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、「石川県医療計画」に基づき歯科医療提供体制を確保し、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与する。



県が中心となり、関係者が連携し、全ての県民に必要な歯科保健・医療を提供

- 県の役割：広く歯科保健に関する情報を収集・管理・分析し情報提供するとともに、市町、学校、施設、事業所等が行う取り組みを支援
- 市町の役割：住民に最も身近な歯科口腔保健サービスの提供主体として、ライフステージごとの特性を踏まえた施策を継続的に展開
- 施設の役割：歯と口腔の健康づくりに関する職員間の理解を深め、施設歯科医師等と連携した取り組みを推進
- 事業所及び医療保険者の役割：従業員や被保険者が歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、歯科保健教育や歯科健診の機会を確保

計画の方針と主な県事業

①歯と口腔の健康に関する地域差の改善	関係者が連携し、②～④の取組を推進すること等により県全体の底上げを図る
②ライフステージに応じた歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上	子どものむし歯予防対策推進事業(市町が実施するフッ化物洗口等の導入支援等) 事業所等における歯周病予防推進事業(健康経営宣言企業等に対する歯周病予防出前講座等) 高齢者施設等における口腔ケア従事者育成事業(介護スタッフ等に対する口腔ケア技術指導)
③特に配慮が必要な分野における歯科口腔保健の推進	障害者等歯科保健指導事業(障害者(児)に対する歯科健診、歯科保健指導等)
④歯と口腔の健康づくりを推進するために必要な社会環境の整備	市町担当者向け・専門職向けの各種研修の開催 歯と口腔の健康づくり推進会議(いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進行管理)

第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況

1/4

歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上

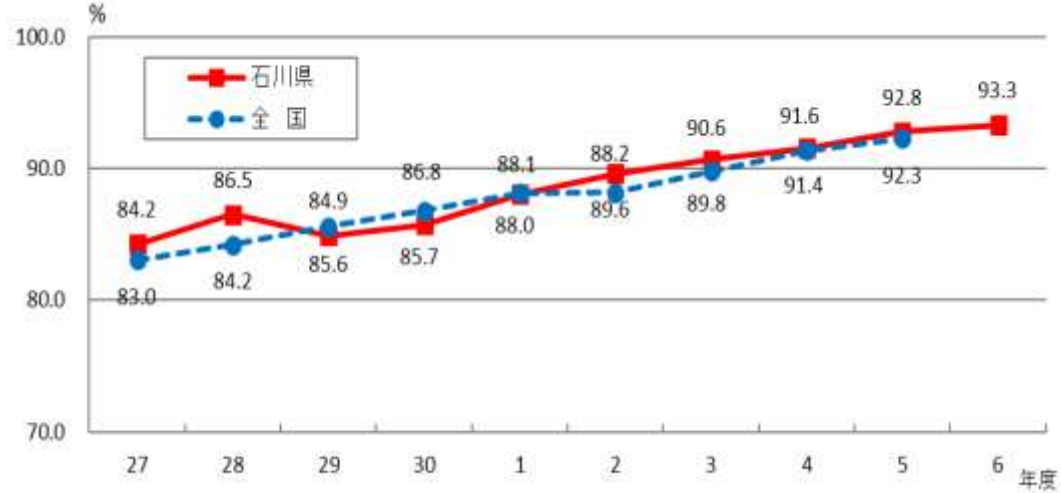
※ 改善傾向の値、 悪化傾向の値

ライフ ステージ		目標項目	ベースライ ン値 (R4)	現状値 (R6)		目標値 (R11)	全国値 (R6)
乳幼児 期	①	3歳児でむし歯のない者の割合の増加	91.6%	93.3%	↑	95%	92.3% (R5)
	②	3歳児で4本以上むし歯のある者の割合の減少	2.3%	1.7% (R5)	↓	0%	2.2% (R5)
	③	乳幼児期においてフッ化物塗布に取り組む市町数	7市町	7市町	→	増加	—
	④	保育所・認定こども園・幼稚園においてフッ化物洗口に取り組む市町数	7市町	15市町	↑	全市町	—
学齢期	⑤	12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.6歯	0.5歯	↓	0.3歯	0.53歯
	⑥	12歳児でむし歯のない者の割合の増加	72.2%	75.1%	↑	90%	74.9%

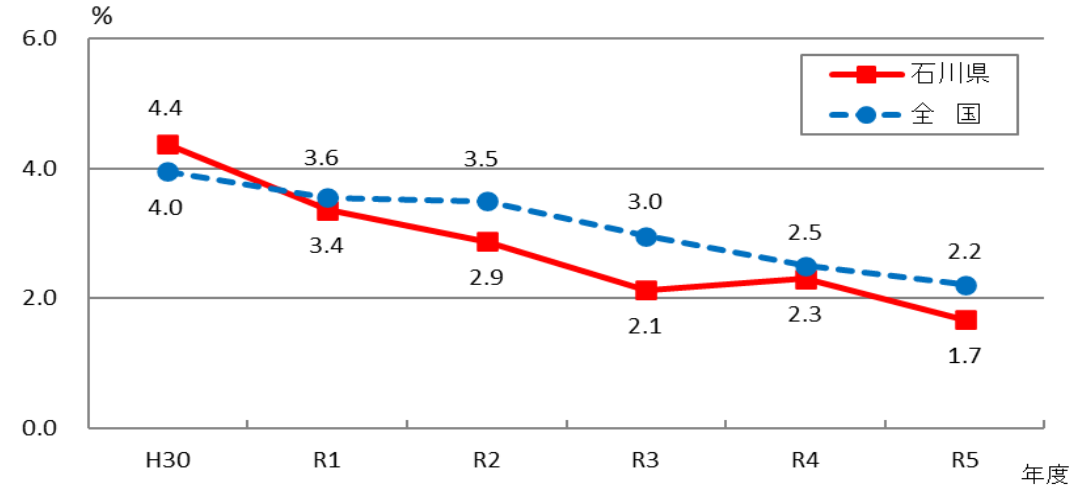
*県民健康・栄養調査結果による指標を除いて記載

【参考】第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況の推移①

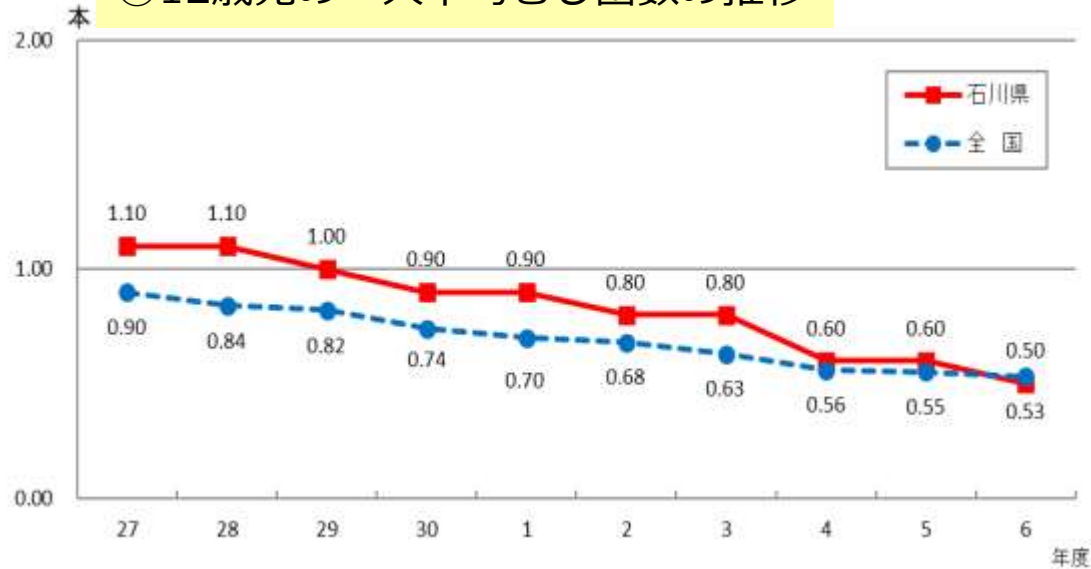
① 3歳児でむし歯がない者の割合の推移



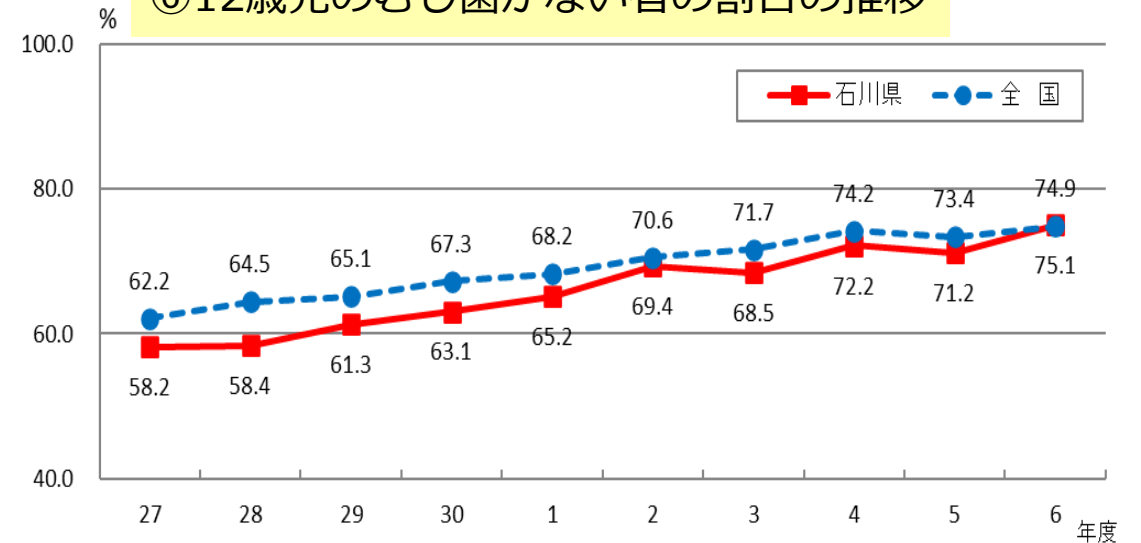
② 3歳児で4本以上のむし歯がある者の割合の推移



⑤ 12歳児の一人平均むし歯数の推移



⑥ 12歳児のむし歯がない者の割合の推移



第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況

2/4

歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上

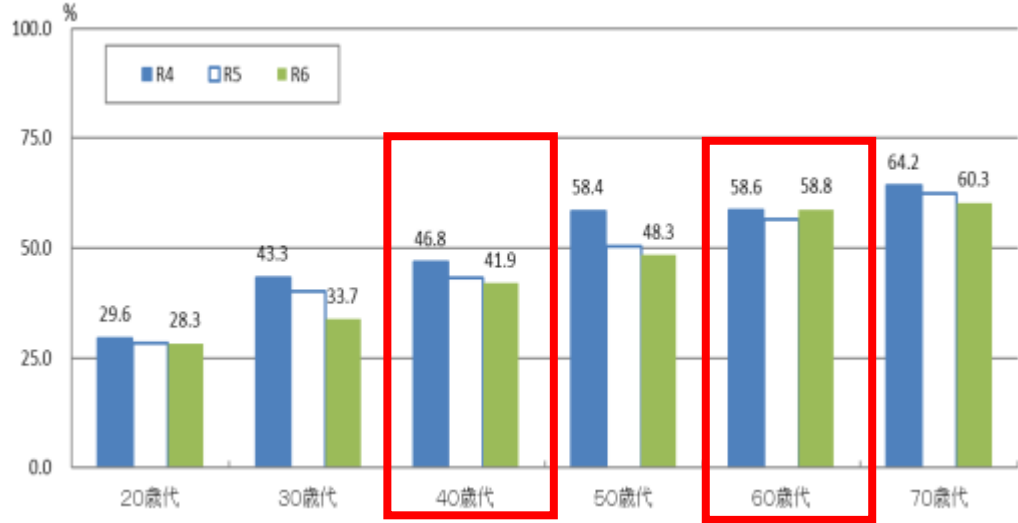
※ 改善傾向の値、 悪化傾向の値

ライフ ステージ		目標項目	ベースライ ン値 (R4)	現状値 (R6)		目標値 (R11)	全国値 (R6)	
成人 期・高 齢期	⑧ ⑨	歯周炎（4mm以上の歯周ポケット） を有する者の割合の減少	40歳代	46.8%	41.9%	↓	35%	34.1%
			60歳代	58.6%	58.8%	↑	50%	53.7%
	⑩ ⑪	未処置歯を有する者の割合の減少	40歳： 35～44歳	32.1%	34.4%	↑	25%	27.1%
			60歳： 55～64歳	27.6%	29.8%	↑	20%	28.5%
	⑫	40歳（35～44歳）で喪失歯のない者の割合の増加	86.2%	89.6%	↑	90%	85.0%	
	⑱	歯周病検診受診率の増加（40, 50, 60, 70歳の節目 年齢）	6.9%	6.8%※	↓	10%	—	
	⑲	後期高齢者歯科健診実施市町数	10市町 (R5)	13市町 (R7)	↑	増加	—	

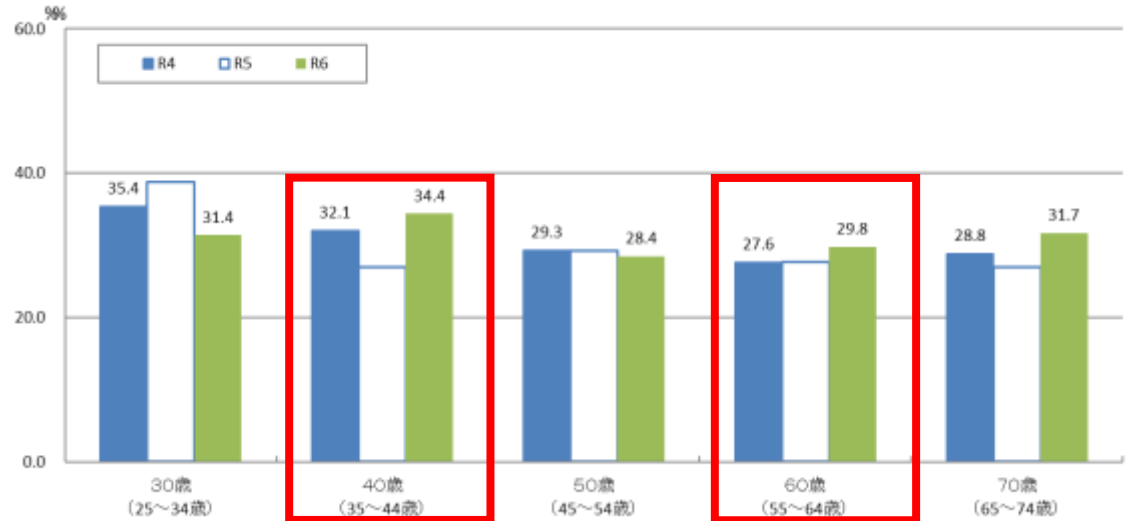
* 県民健康・栄養調査結果による指標を除いて記載
 ※ 20,30,40,50,60,70歳の節目年齢の受診率は、6.0%

【参考】第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況の推移②

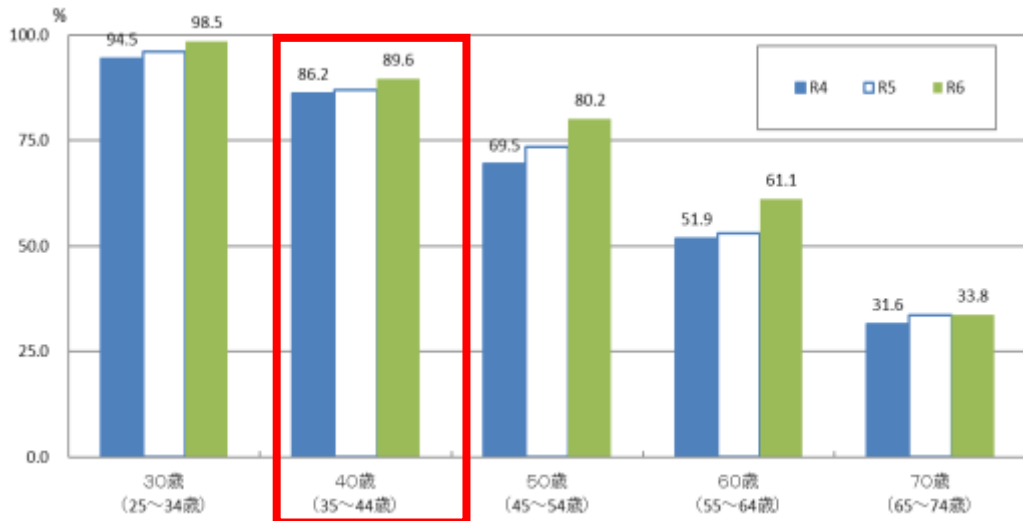
⑧,⑨歯周炎がある者の割合（40歳代、60歳代）



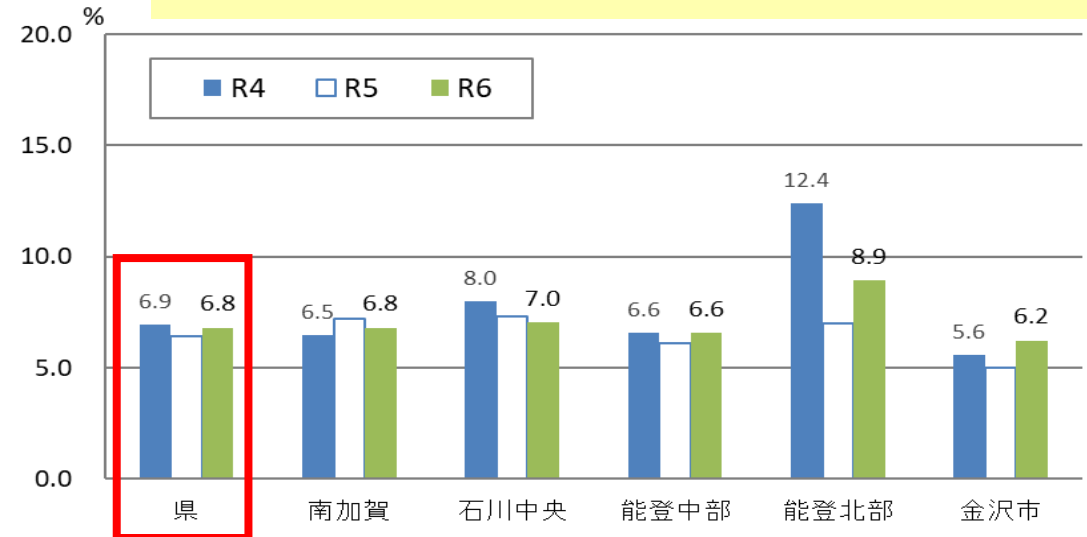
⑩,⑪未処置歯がある者の割合（40歳、60歳）



⑫40歳で喪失歯のない者の割合（40歳）



⑬歯周病検診受診率（節目年齢※） ※40,50,60,70歳



第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況

3/4

配慮が必要な分野

※ 改善傾向の値、 悪化傾向の値

ライフ ステージ	目標項目	ベースライ ン値 (R4)	現状値 (R6)		目標値 (R11)	全国値 (R6)
妊産婦	妊婦歯科健診受診率の増加	45.3%	45.1%	↓	50%	—
障害者 (児)	障害者支援施設（入所）及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	90.6% (R5)	81.3% (R7)	↓	95%	—
要介護者	在宅療養支援歯科診療所数	40診療所	40診療所	→	増加	—
	訪問診療（居宅）実施歯科診療所の割合の増加	8.7% (R2)	12.3% (R5)	↑	10%	16.8% (R5)
	介護保険施設（介護老人福祉施設、介護医療院及び介護老人保健施設）での定期的な歯科検診実施率の増加	11.1% (R5)	20.3% (R7)	↑	20%	33.4%※ (R1)
	口腔衛生管理加算を算定している介護保険施設の割合	18.5% (R5)	19.8% (R7)	↑	増加	—
医科歯科 連携	周術期口腔機能管理後手術加算を算定している病院数	15病院 (R3)	15病院 (R5)	→	増加	—

* 県民健康・栄養調査結果による指標を除いて記載

※ 介護老人保健施設での定期的な歯科健診受診率

社会環境の整備

※ 改善傾向の値、 悪化傾向の値

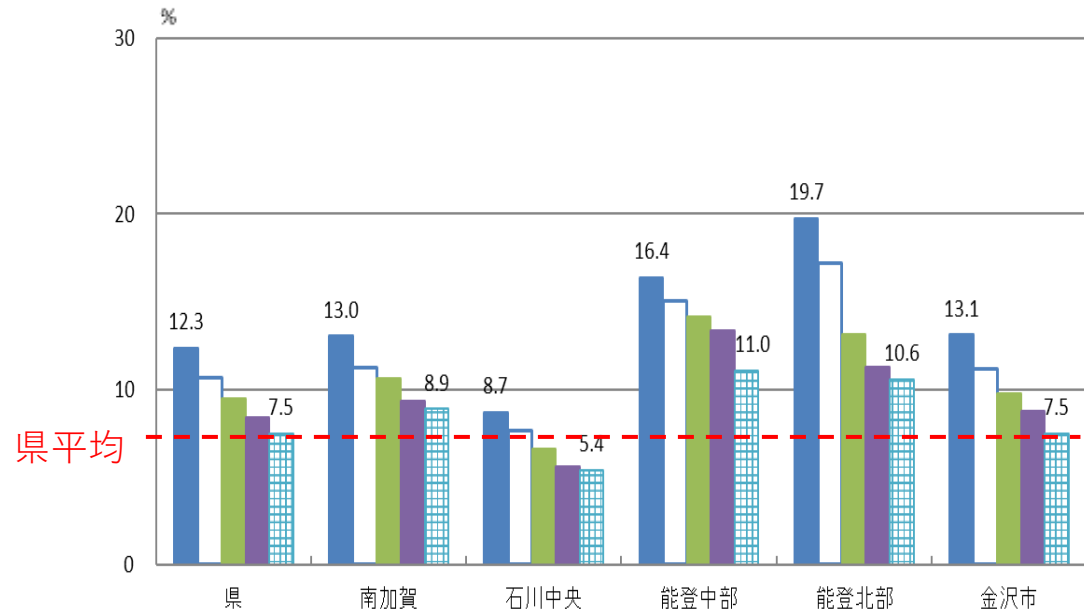
目標項目	ベースライン 値 (R4)	現状値 (R6)		目標値 (R11)	全国値 (R6)
(再) 乳幼児期においてフッ化物塗布に取り組む市町数	7市町	7市町	→	増加	—
(再) 保育所・認定こども園・幼稚園においてフッ化物洗口に取り組む市町数	7市町	15市町	↑	全市町	—
(再) 後期高齢者歯科健診実施市町数	10市町 (R5)	13市町 (R7)	↑	増加	—
歯科口腔保健に関する事業の効果検証を実施している市町数	今後調査 予定	2市町	↑	増加	29.3% (R4)

* 県民健康・栄養調査結果による指標を除いて記載

【参考】第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画の進捗状況の推移③

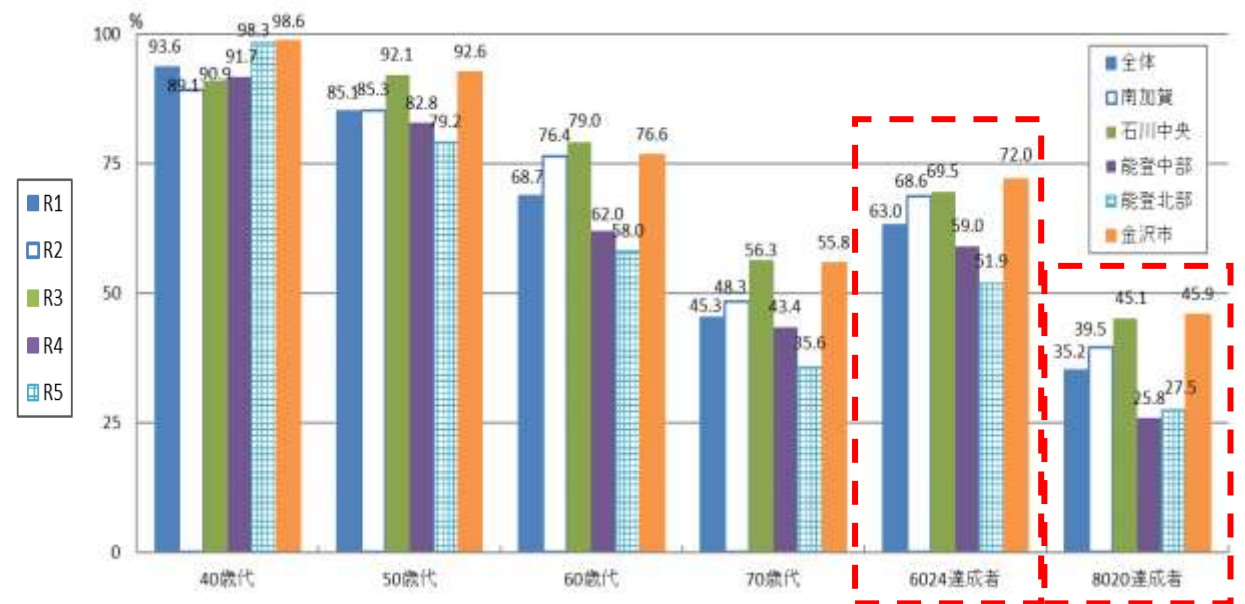
地域差の改善の視点

3歳児のむし歯がある者の割合
(3年移動平均 保健所別)



出典：地域保健・健康増進事業報告

20本以上自分の歯を有する者の割合（保健所別）



出典：令和4年県民健康・栄養調査